

●北海道栗山町（平成22年8月19日（木））

1 町の概要

(1)	町制施行	昭和24年
(2)	人口	13,517人（平成22年9月30日現在）
(3)	面積	203.84平方キロメートル
(4)	予算規模	平成22年度当初予算 （全会計合計額）126億4,813万円
(5)	財政力指数	0.317
(6)	公債費比率	24.5パーセント
(7)	製造品出荷額	344億円（平成20年12月31日）
(8)	議員定数	【法定上限数】22人、【条例定数】13人、【現員数】13人
(9)	委員会定数	○常任委員会 総務教育常任委員会6人、産業福祉常任委員会6人 ○議会運営委員会6人 ○特別委員会 広報特別委員会6人
(10)	議員報酬	【議長】30万円、【副議長】23万9千円、 【議員】19万6千円（平成11年4月改定）
沿革（現況）		<p>栗山町の地名は、アイヌ語の「ヤム・ニ・ウシ＝栗の木の繁茂しているところ」に起源し、1949年（昭和24年）の町制施行に伴い改称。</p> <p>栗山町は、道都札幌市や苫小牧港、新千歳空港からそれぞれ約1時間の道央圏に位置し、北は屈足山系と東は夕張山系に続く緩やかな丘陵地帯で、夕張市と接している。</p> <p>南西を蛇行しながら流れる夕張川は由仁町、長沼町との境界となり、やや南北に細長く町が形成されており、特に北西部では、国道や鉄道が通る交通の拠点として中心市街地が形成され、道内各地からのアクセスの良さが魅力となっている。</p>

2 視察事項

(1) 議会改革の取り組みについて

① 議会改革の背景

地方分権一括法の施行で機関委任事務制度の廃止により地方議会の役割が極めて広範囲にわたり、責任の度合いが大きくなった。

透明性の確保・インターネットによるライブ中継と町内テレビ
情報の公開

議会広報の充実

議員は財政問題に弱い・中長期財政問題等調査特別委員会の設置（H14）
常任委員会所管事務調査の充実

監視型議会からの脱皮

政務調査の導入・政務調査費の導入に併せて通常の常任委員会の視察は廃止
協働（住民参加）によるまちづくりと議会のあり方
マスコミとの良好な関係の確保

②議会基本条例の制定

平成18年5月に全国で初めて制定

（特徴）

町民や団体との意見交換のための議会主催による一般会議の設置
請願、陳情を町民からの政策提案として位置付け
重要な議案に対する議員の態度（賛否）を公表
年1回の議会報告会の開催を義務化
議員の質問に対する町長や町職員の反問権の付与
政策形成過程に関する資料の提出の努力義務
議員相互間の自由討議の推進
政務調査費に関する透明性の確保
議員の政治倫理を明記
最高規範性と4年に1度の見直しを明記
町民から議会運営に関し提言を聴取する議会モニターを設置
有識者に政策づくりへの助言をもらう議会サポーターの導入

（意見交換）

・執行部への反問権の付与はどんな状況か。

⇒反問した例は3回ぐらい。内容は疑問点をたず（質問整理の範囲内）
という程度、

・議会報告会は議決事項について報告をしているが、採決で反対した議員も
いると思うがその対応は。

⇒議決事項については従ってもらうという申し合わせをしている。12名
で3チームに分かれて出ている。自分の地域へ行くことはない。

【委員の感想】

○議会改革、議会活性化を推進していくためには、まず議員自ら意識改革することが
必要である。また、強いリーダーシップを発揮するリーダーが必要である。

住民の方との意見交換のための議会主催の一般会議、議会報告会や議会モニター設
置、議会サポーターの導入、反問権の付与などを行うことにより、議会として、議員
として、市民の代表としての機能をより向上していける。いずれにしても議会基本条
例の設置の必要性を感じた。

○議員の資質、モチベーションの高さに感服した。特に、「議決責任」、「報告（説明）責任」を柱に、組織的に、継続的に、議会の果たす責務がしっかりと位置づいていると思った。

○橋場議長が、議会は住民に一番近い立場なのに現実的には住民に一番遠い議会になっている。議会は住民に対する説明責任があるとの考えから議会報告会を開催しているのが栗山町議会の特徴だと熱弁されたのが印象に残った。

栗山町議会は会派がない議会なので、それぞれの議員の意見が反映されているが、会派のある議会は一人ひとりの議員の意見が反映されてないので、選ばれた議員として疑問が残るとの発言があり、会派の一人として個人の意見が尊重されないこともあり、そうだなと感じた。

○議会改革の取り組みが住民に議会の必要性を十分理解されていると思う。議決・承認案件に対する責任感を再認識した。

○議長の強いリーダーシップと住民との対話を重視する議会・議員の一体性が議会改革・活性化のキーワードかもしれない。

○行政視察の対応を主に議会議員でしていただいたのは初めてであった。第一印象として強力な議長のリーダーシップを感じる。議会改革・活性化への取り組みについては本市と比べ取り上げるようなことはないと思うが、各案件の取り組みから決定・実施まで無会派システムと、強力な議長のリーダーシップで早期に物事を進めているように感じた。

○住民から議会運営に関して提言を聴取する議会モニターの設置、有識者へ政策づくりへの助言をもらう議会サポーターの導入など、本市にも必要だと感じた。

議会報告会などを通して議会が住民の声に敏感に対応する時代となったと思う。